

安保・戦争国会粉碎へ！

全学連（斎藤郁真委員長）書記局通信

2015年8月18日
No.313

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

◆動労水戸・石井真一委員長の8・15集会発言

みなさんが集会の発言者が言われているように、「安倍談話」が出されて許せないですけども、「よわよわしいな」というふうに思いました。安倍はもうグラグラだなど。安保法制反対・戦争反対という声に圧倒的になにも言えなかった。安倍はすべてリセットしたかったです。結局、みんなの怒りの声に負けてああいうことしか言えなかった。我々の闘いが追い込んだと私は思います。

広島でも長崎でも沖縄でも福島でも、ものすごい怒りが噴出している。広島では参列している人ですよ。あのヤジ。「戦争法案撤回しろ」ああいうところに座っている人が総理大臣にそういうことを言う。ものすごい怒りが叩きつけられ、やっぱり社会を変えよう、社会を変えるしかないという怒りが今の社会に渦巻いていると思いました。

長崎の方で城台さんが切り開いた地平で今回の被爆者代表も安倍を弾劾するという発言もされました。でもやっぱり勝負は労働運動なんだと思います。1987年の国鉄分割・民営化がありましたけど、これで労働運動を叩き潰すんだと中曽根以来、自民党の総裁は「戦争をやるんだ」という攻撃をやってきた。動労千葉を先頭にこの国鉄分割・民営化に対して30年間闘いに挑んで、動労千葉、動労水戸、動労連帯高崎、動労西日本、国労共闘の仲間たちがそれぞれ闘いをし、必死になって歯を食いしばってやってきて阻んできた状況だということです。

それが6.30判決という、1047名の解雇が不当労働行為なんだということを最高裁に認めさせたという決定的な我々の勝利の地平を切り開いたと思います。そして次のステップは、動労総連合を全国に作る決意で、この秋に郡山でも、新潟でも、東京でも、神奈川でもすでに始まっていますけども、そういう動労

総連合建設を私は切り開いていきたいと思います。もう一つは私の課題でもありますけども、原発問題も安倍は追い込まれている状況です。この中で川内原発再稼働を強行しました。もう桜島でレベル4の段階で、全然地震も収まってないし、活断層も収まってない状況の中で「なにが安全なんだ」というふうに思います。こんなので原発を再稼働しようとしている安倍を打倒しなければならないという怒りの声は全国津々浦々に広がっています。

そして9月5日、櫛葉町の帰町宣言が行われるということになっています。これは絶対に許すことができません。櫛葉町の帰町宣言がなされれば広野・櫛葉の自治体や教員や郵便局の人や水道とかNTTとか、JRもそうですけど、すべての労働者が被曝させられる状況になるわけです。こんなことは許せない！

やっぱりもう一つは、この闘いには日本共産党とかと最終的には決着をつけなきゃいけないと思います。「ソ連の核はキレイ」だとか、平和利用はいいんだとか、自衛の戦争はしかたないんだとか言い、「自分たちが政権をとっても、自衛隊は残すんだ」ということをわざわざ日本共産党は戦争法案の強行採決の中で言っています。

この日本共産党を、叩いて踏み潰して打倒して突き進んでいかなければいけないと思います。動労水戸は8月29日、いわきで集会とデモを行います。是非ここに参加されているみなさんが、いわきに来てくれることを心から訴えたいと思います。

これでJRは常磐線の全線開通で2020年の東京オリンピックを狙って、2018年までに全線開通するということを狙っています。今、バス代行運転も走っていますが全然乗っていません。一台7.5人です。そのバスに乗って、1.2マイクロシーベルト被曝します。JRはなんと言っているか。「乗客の選択なんだ」「被曝してもいいということで乗客は乗っているんだから被曝してもいいんだ」と言っています。

動労水戸の被曝労働強制反対に対する申入れに対して、「初めて、100人以上もの甲状腺ガンにかかっている事は分かった。」こんなことを言っている会社が常磐線全線開通をやろうとして

●参院採決阻止！ 安倍たおせ！ ゼネストで戦争とめよう！

8・20国会デモ&抗議集会

8月20日(木)

11時半
正午
14時半～
16時～17時

日比谷公園霞門集合
霞が関一国会デモ
防衛省に申入れ行動
国会前抗議集会
(衆議院第2議員会館前)



いるわけです。こんなことは我々は絶対に許すことは出来ません。この常磐線全線開通で、広野と楢葉だけ資本を投入して病院を作るといっています。2月に開業するだとか、年をとった院長が記者会見で言っていましたけど、そういうふうに楢葉と広野だけに集中してそれで「復興したんだ」と。「あとは全部切り捨てるんだ」と言うのが安倍政権のやり方です。

私達はこういうことに対して、全力でストライキも辞さずに闘いぬいていきます。是非よろしくお願ひします。そしてこれから8.29の闘いもあるんですけども9月11日に、外注化の裁判もあります。外注化の裁判が決定的な状況になってきています。私自身も失効で9月30日に期限が切れるんですけども、それが9月の15、16日に発令が出ると思います。

それが決定的なものになります。だから外注化の闘いも、安保法制の闘いも同時並行的に「外注化やめろ」と言う闘いをしなきゃいけない。実際に、事故がバンバン起こっているんですよ。外注化のために。そして事故が起こったら、「起こしたやつが悪い」と言って事故を起こした人を処分しているんですよ。こんなやり方は許すことはできないし、一体鉄道の歴史をどうするんだと。こういう一切合切を、国鉄分割・民営化のすべてをかけた、この外注化の闘いもみなさんとともに闘って行きたいと思っていますので、よろしくお願ひします。

◆森川文人弁護士の8・15集会発言

昨日、テレビの前で戦後70年安倍談話をつぶさに聞きました。政権支持率低下状況下での安保法案を成立させようというグラグラの中、「メディア」がこだわる「侵略」「おわび」「植民地支配」という言葉を引用や主語を曖昧にしながら形式的に配置していました。しかし、この「安倍談話」は、いなおり侵略戦争を再び行う戦争宣言です。弾劾しなければなりません。

日韓併合に一切触れずに「日露戦争は植民地支配下のアジアとアフリカの人々を勇気づけ」たなどと言っている。また、「私たちの子や孫、そしてその先の世代の子どもたちに、謝罪を続ける宿命を背負わせてはなりません。」などいう。これはつまり、この時点で一旦、過去を「清算」し、仕切り直し、その上で「積極的平和主義」の名の下に侵略戦争を再び行うということです。「安保法案は戦争を未然に防ぐため」「万が一への備え」「日米同盟が完全に機能」などという本音が露呈していました。



何よりもはっきりしているのは、なんと言おうと、戦争法案をひっこめるつもりなど全くない、ということです。到底、許すことはできません。

「体制内」＝日和見主義＝排外主義的ナショナリズムとの闘い

安倍談話は、アジアに言及しながらも、朝鮮、韓国にほぼ触れていません。何故でしょうか。

それは、韓国の労働者のゼネスト状況をも視野に、そこに向けて政府は、「朝鮮半島有事」を持ち出すためです。これは帝国主義的な焦り、であると共に、私たちを排外主義・ナショナリズムで「祖国防衛」「自衛戦争」に屈服させるためです。

学生や青年、そして女性が立ち上がっている。それは素晴らしい。しかし、国会前の様々な動きの中でも「戦後日本」体制の存在を前提とする階級協調の日和見主義の「本性」があらわれ、反革命として牙を向いてきています。

私たちは、警備の警官に礼を言いながら「過激派排除」をする「愛国青年」「愛国平和」の制動を乗り越えなければなりません。

資本を倒さなければ戦争は止められない。

結局、戦争法案に一旦、口先で反対していても、実際に戦争情勢に突入したとき、それぞれの現場（職場、大学など）での「階級協調」を拒否し、戦争反対で資本と非和解的に闘うことができれば、「祖国防衛」と称した帝国主義戦争に一挙に雪崩打って加担する結果になってしまうでしょう、つまり「資本を倒さなければ戦争は終わらない」のです。

「自国政府打倒」の国際連帯を

私たちが、この時代、いま一度確認すべきは戦争を唯一阻止する道は「自国政府打倒」の団結と国際連帯であること。奴らの戦争は帝国主義、強盗の戦争であること、99%側としての階級意識の自覚と団結です。

世界中、労働者と民衆は、賃下げ、増税、年金引き下げなど共通の攻撃を受け、同じ境遇で苦しんでいます。これに対し、ギリシャや、韓国で。戦争につつまぬ安倍政権を倒し、あらゆる戦争をする政府を倒し、私たちの時代をつかみとりましょう。あらゆる分断攻撃に抗して99%の我々が天下をとるときです。

韓国でゼネストを闘う労働者、ギリシャの民衆、弁護士の多数拘束等のなか中国で闘う人々、世界中の99%の人々と団結・国際連帯を貫き、戦争をする政府・資本を打倒し、私たちの勝利へ突き進みましょう。

これが私たちの「安倍談話」への回答です。がんばりましょう！

【当面する行動方針】

●9・2～3 全学連第76回定期全国大会

9月2日(水)～3日(木) 2日の午前9時半に開会 ※3日の議事終了後16時に国会へデモ
浜町区民館にて(東京都中央区日本橋浜町3-37-1)
参加費1000 円(2日間で)

●武田雄飛丸君「暴行」でっち上げ裁判控訴審・第1回

9月10日(木) 13時半～ 東京高裁にて ※傍聴券配布のため、13時までに裁判所入口脇に集合してください。

